

タービン建屋東側における 地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について

2016年12月22日

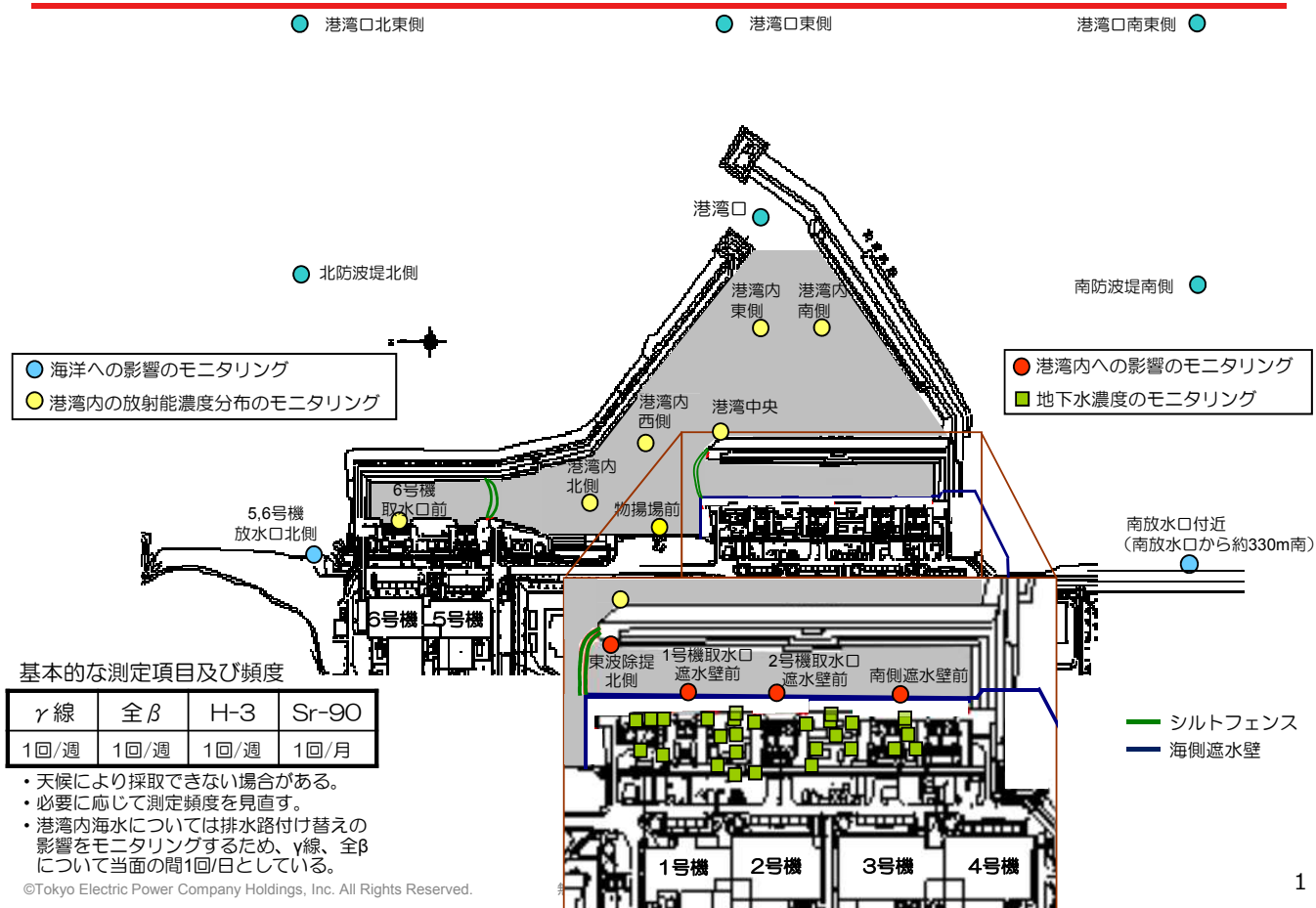


東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

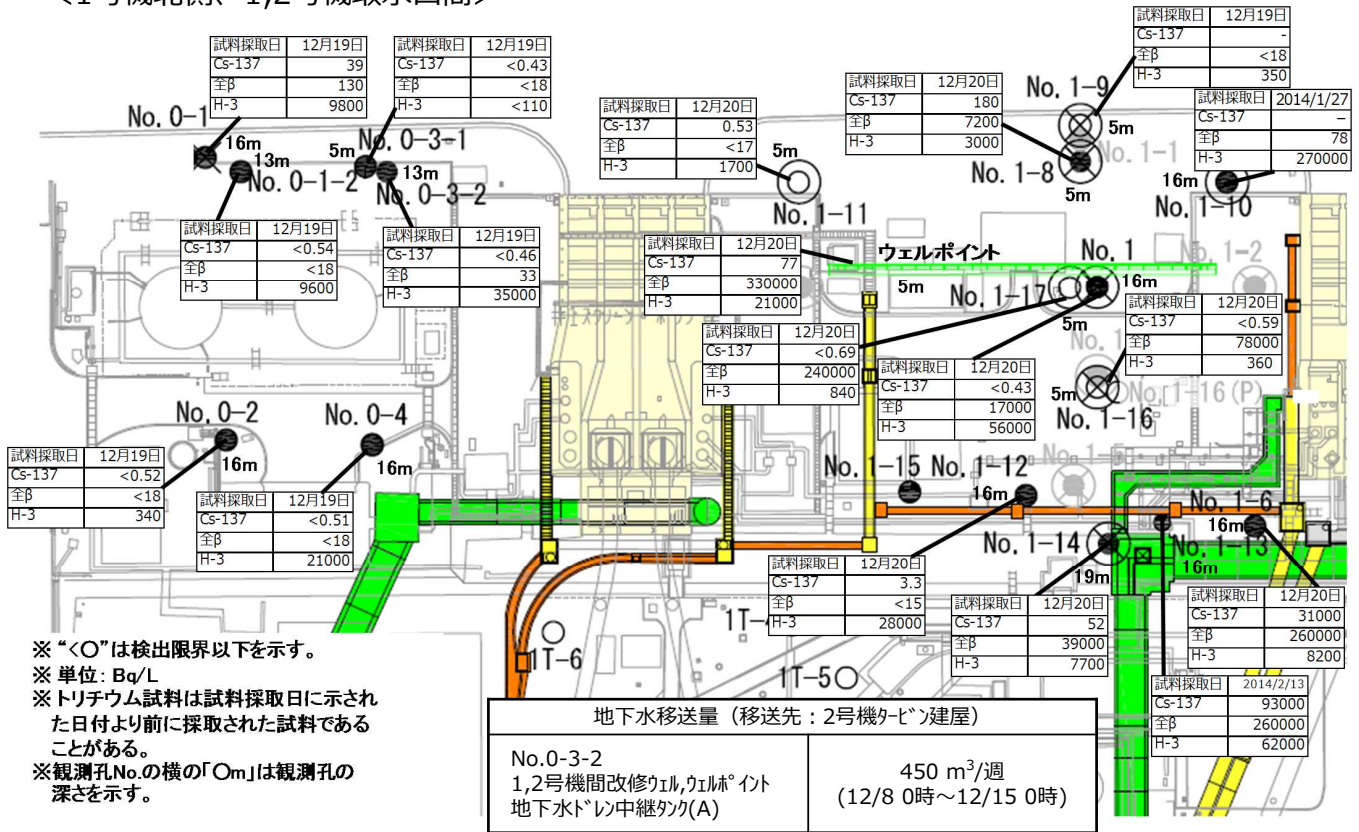
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

モニタリング計画（サンプリング箇所）

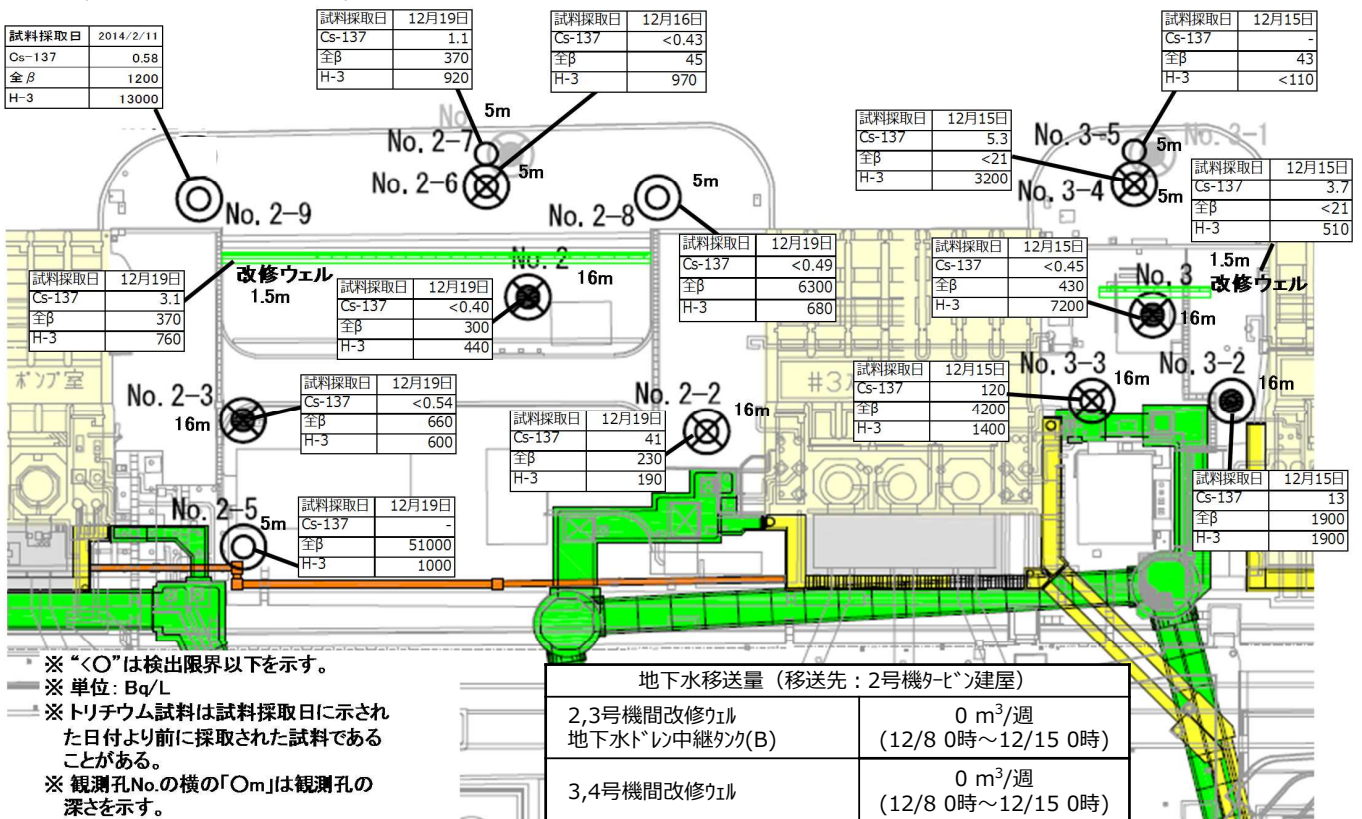


©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

<1号機北側、1,2号機取水口間>



<2,3号機取水口間、3,4号機取水口間>



<1号機北側エリア>

- No.0-1でH-3濃度について2016.10より緩やかな上昇傾向にあり、現在10,000Bq/l程度となっている。
- No.0-3-2でH-3濃度について2016.1より緩やかな上昇が見られていたが、2016.10中旬より横ばい傾向にあり、40,000Bq/l程度で推移している。

<1,2号機取水口間エリア>

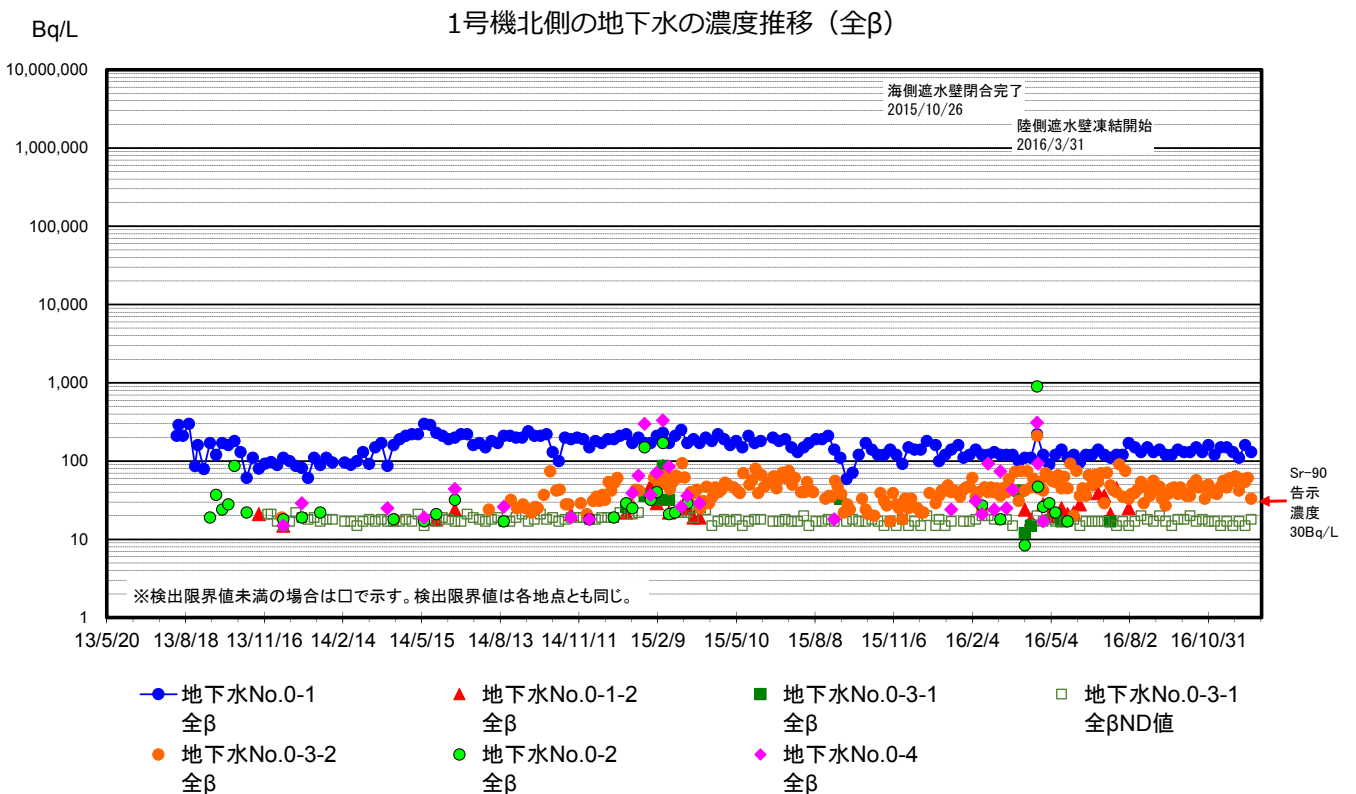
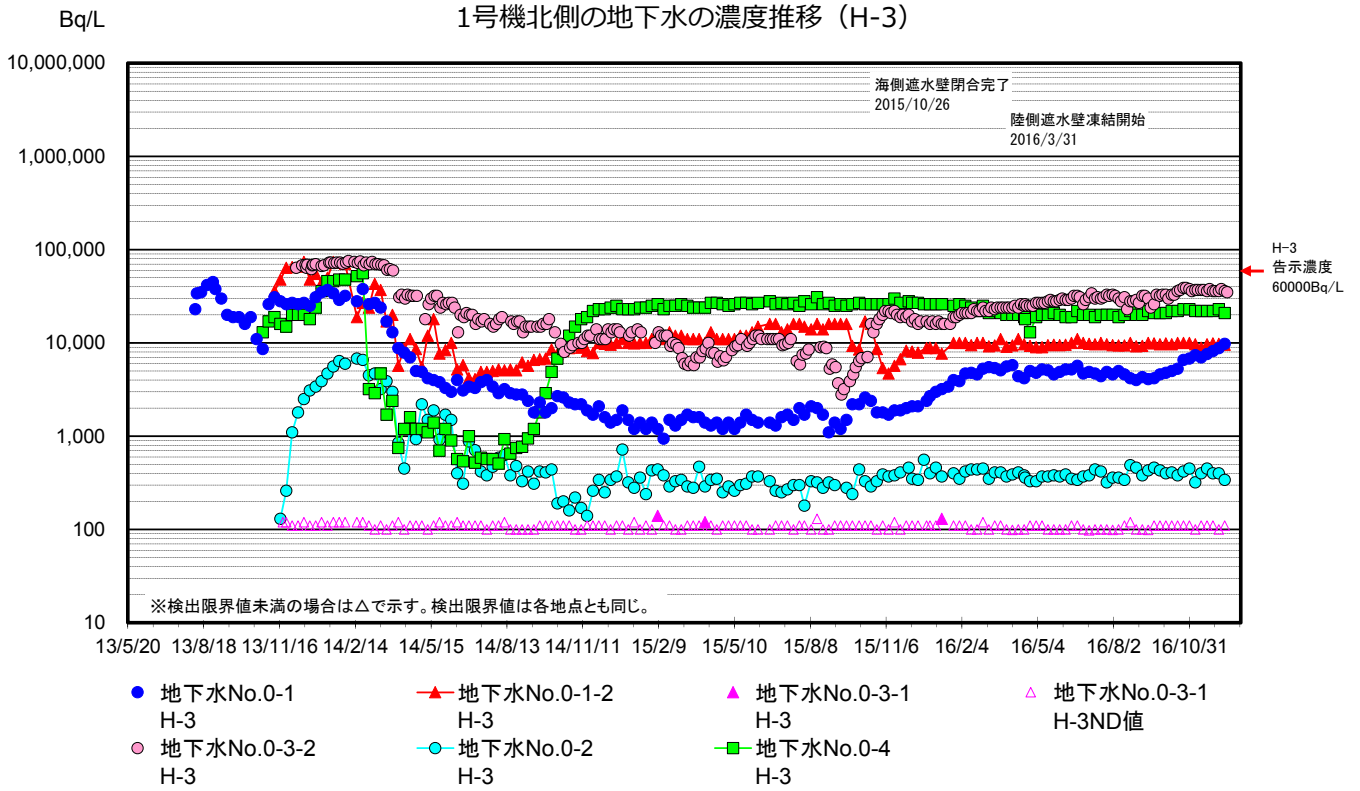
- No.1-6で全β濃度について2016.7より低下が見られていたが、2016.10中旬より横ばい傾向にあり、30万Bq/l程度で推移している。
- No.1-16で全β濃度について2016.8以降6,000Bq/lまで低下した後に上昇していたが、2016.10中旬から横ばい傾向にあり、10万Bq/l程度で推移している。
- No.1-17でH-3濃度について2016.3以降40,000Bq/lから低下、上昇を繰り返していたが、2016.11中旬から横ばい傾向にあり、1,000Bq/l程度で推移している。

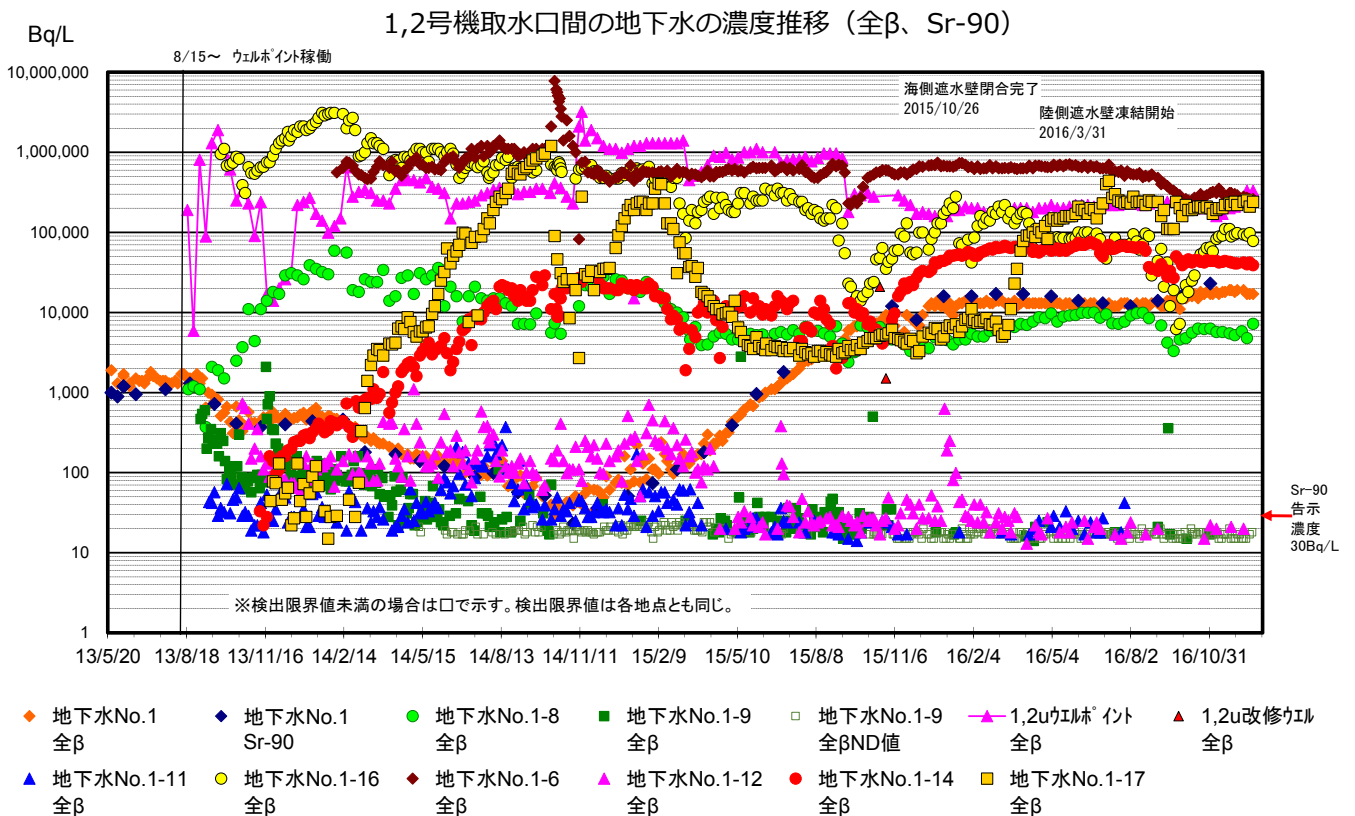
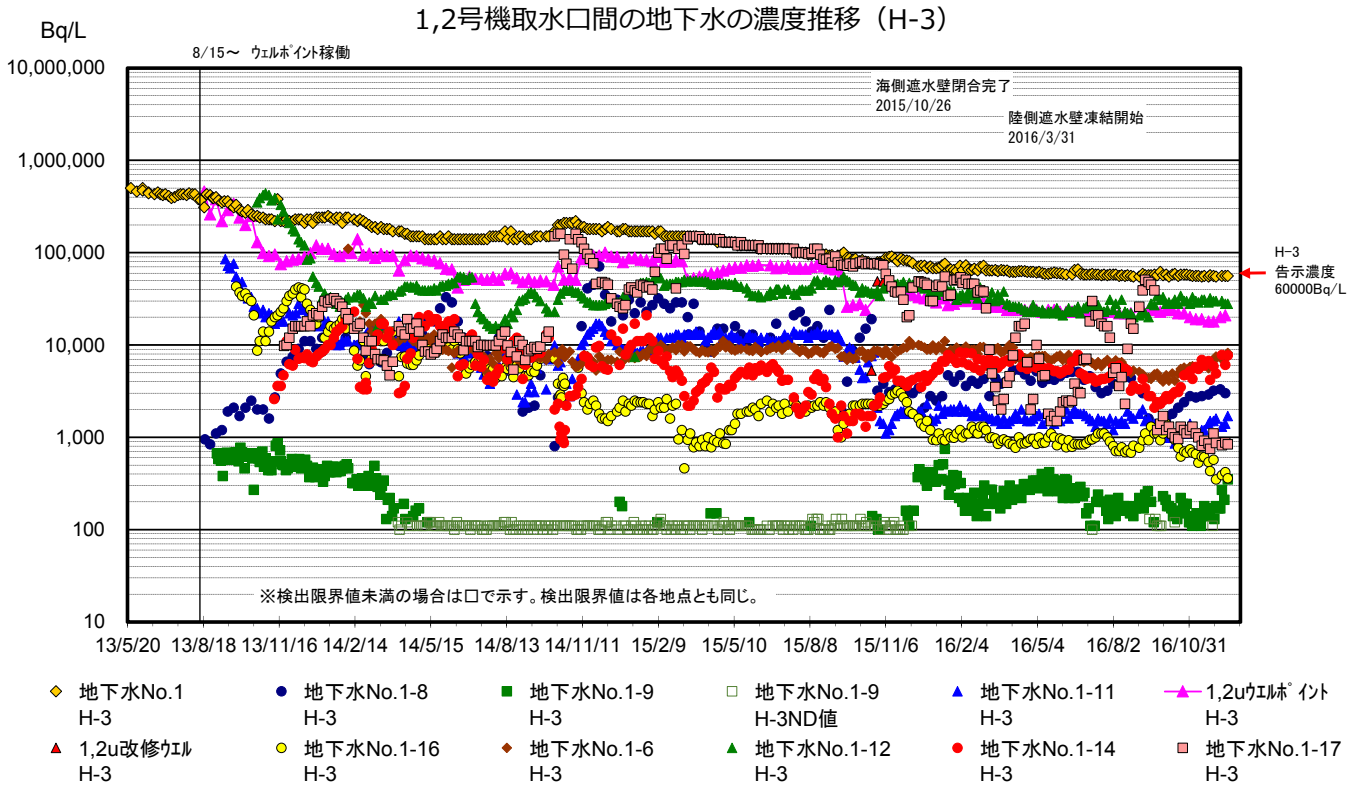
<2,3号機取水口間エリア>

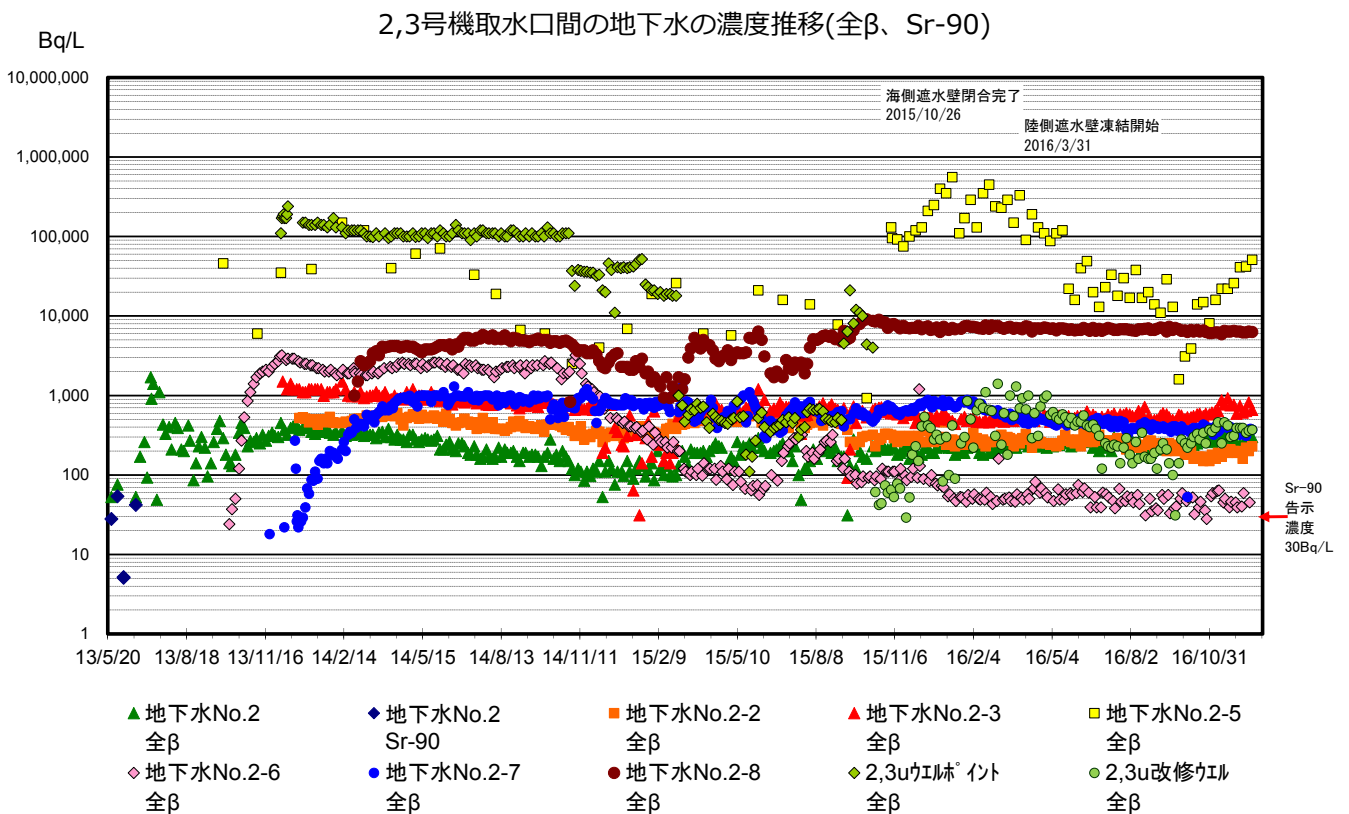
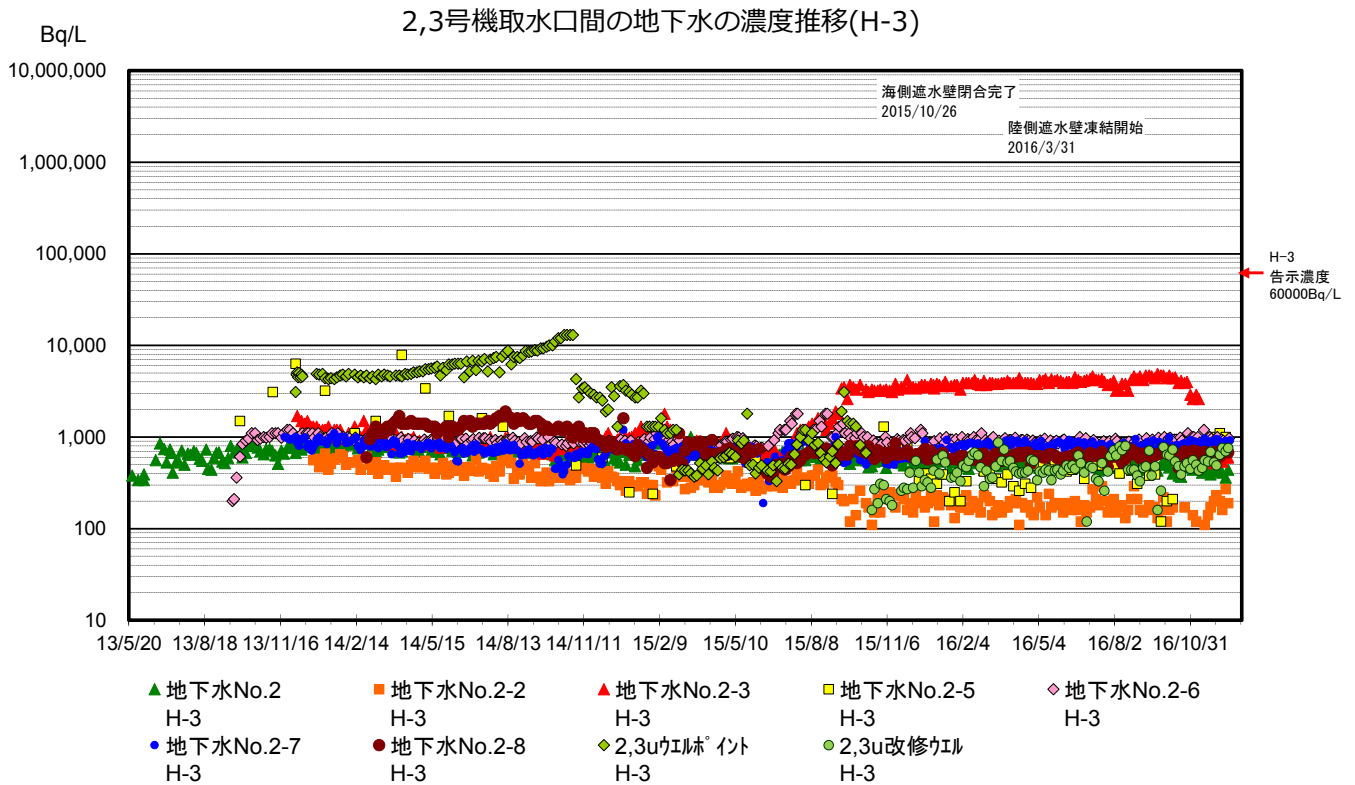
- No.2-3でH-3濃度について4,000Bq/l程度で推移し2016.11より低下していたが、現在横ばい傾向にあり、600Bq/l程度で推移している。
- No.2-5で全β濃度は2015.11以降50万Bq/l程度まで上昇した後、2016.1以降から低下傾向にあったが、2016.10中旬より緩やかな上昇傾向にあり、現在50,000Bq/l程度となっている。

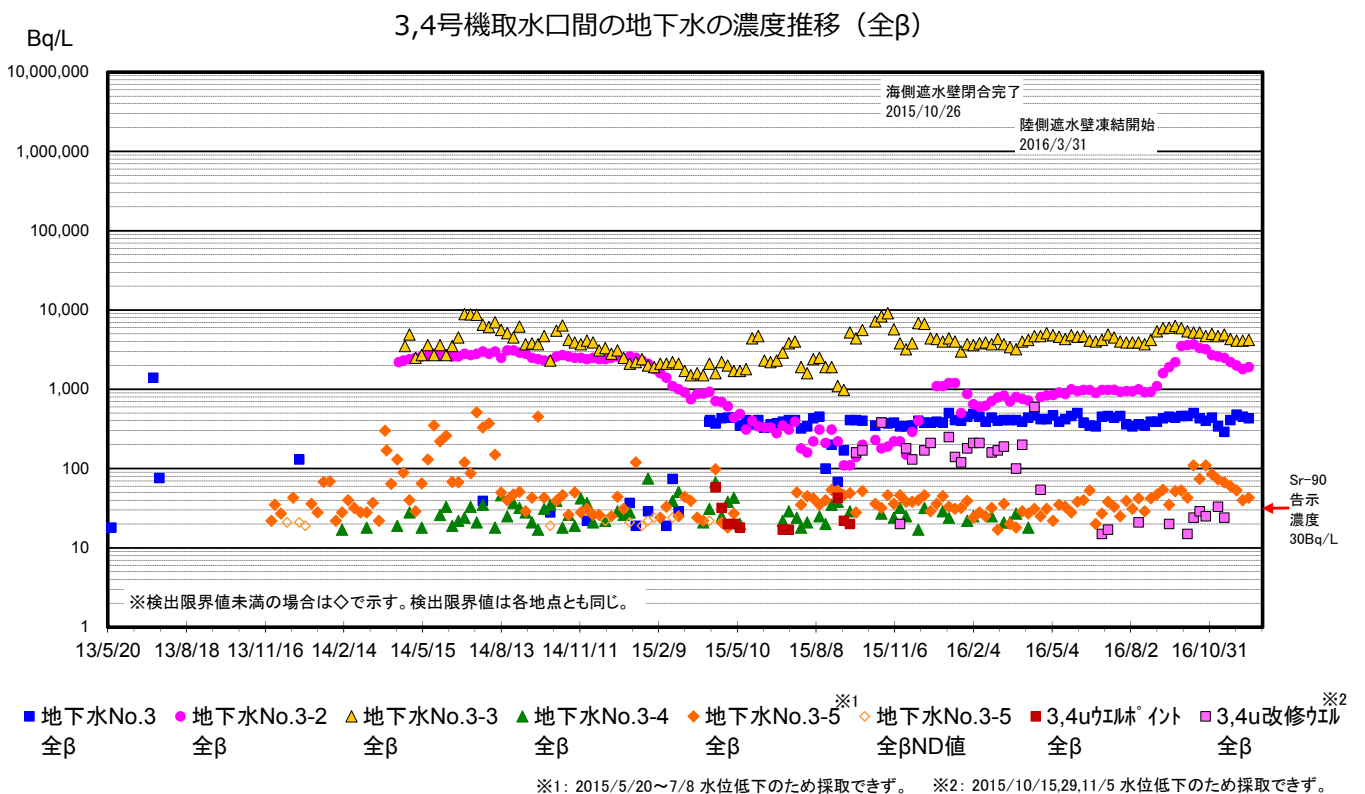
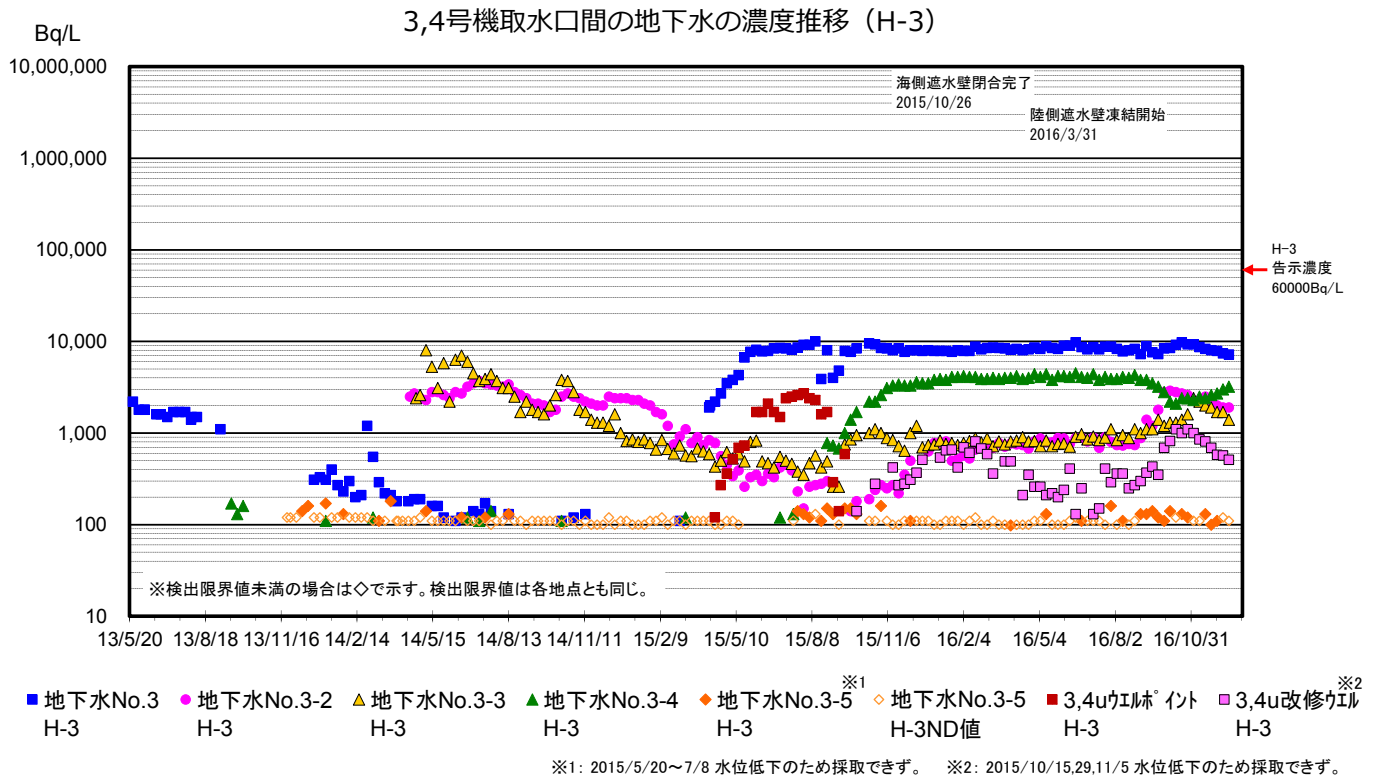
<3,4号機取水口間エリア>

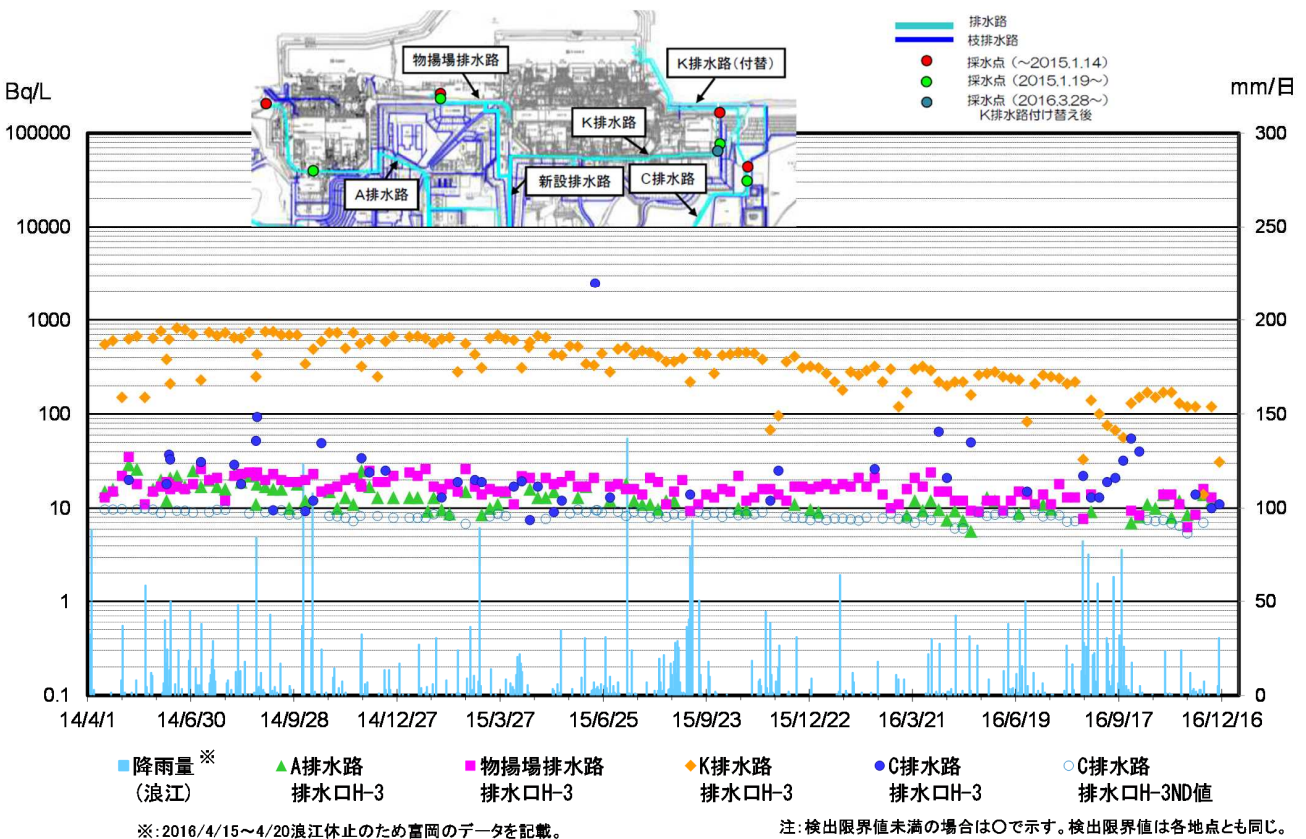
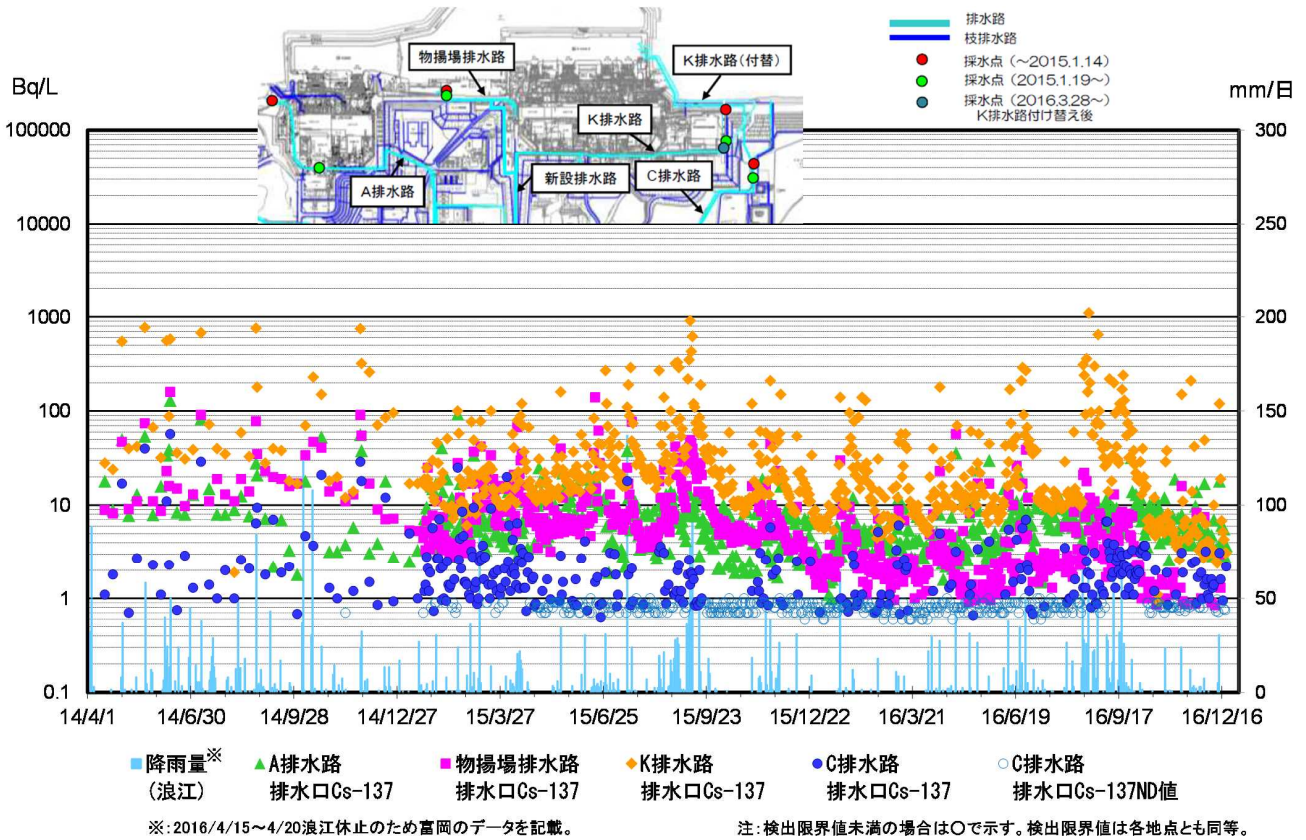
- No.3-2でH-3濃度と全β濃度が2016.9より上昇が見られていたが、10月末のH-3濃度3,000Bq/l、全β濃度3,500Bq/lをピークに緩やかな低下傾向にあり、現在はそれぞれが上昇前より若干高い2,000Bq/l程度となっている。
- No.3-3でH-3濃度について2016.9より上昇が見られていたが、11月始めの2,500Bq/lをピークに穏やかな低下傾向にあり、現在は上昇前より若干高い1,500Bq/l程度となっている。
- No.3-4でH-3濃度について2016.9より低下が見られていたが、10月末の2,500Bq/lから緩やかな上昇傾向にあり、現在は低下前より若干低い3,000Bq/l程度となっている。

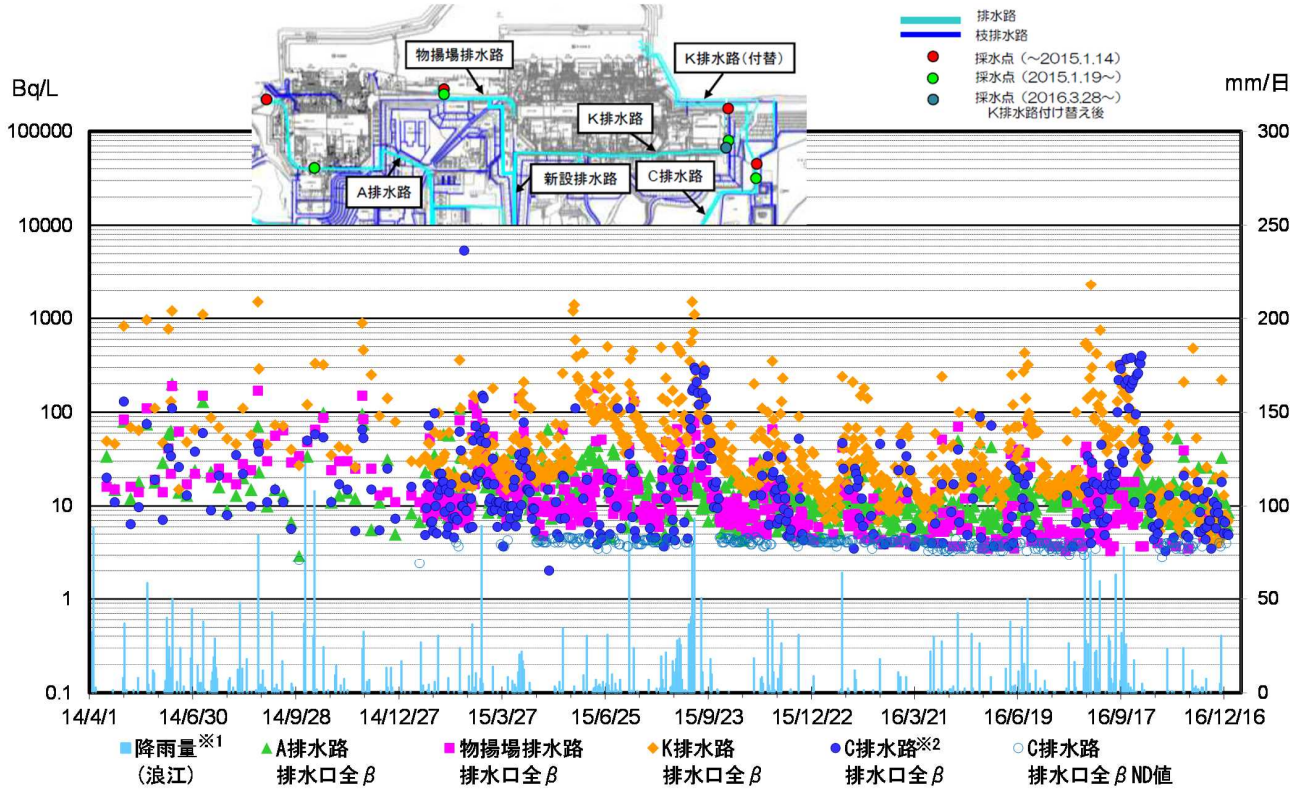








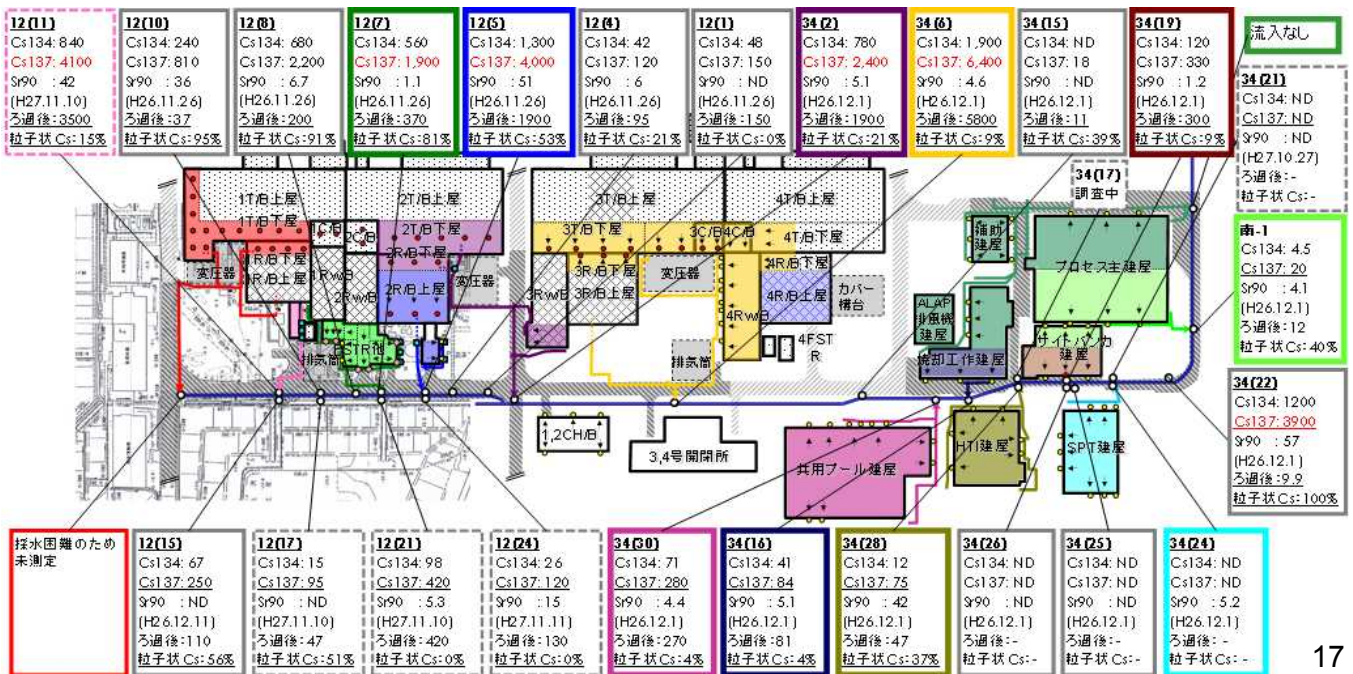
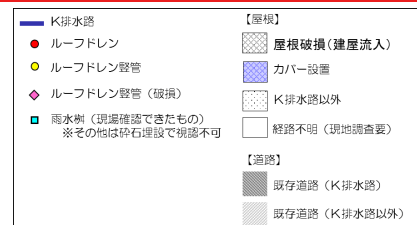


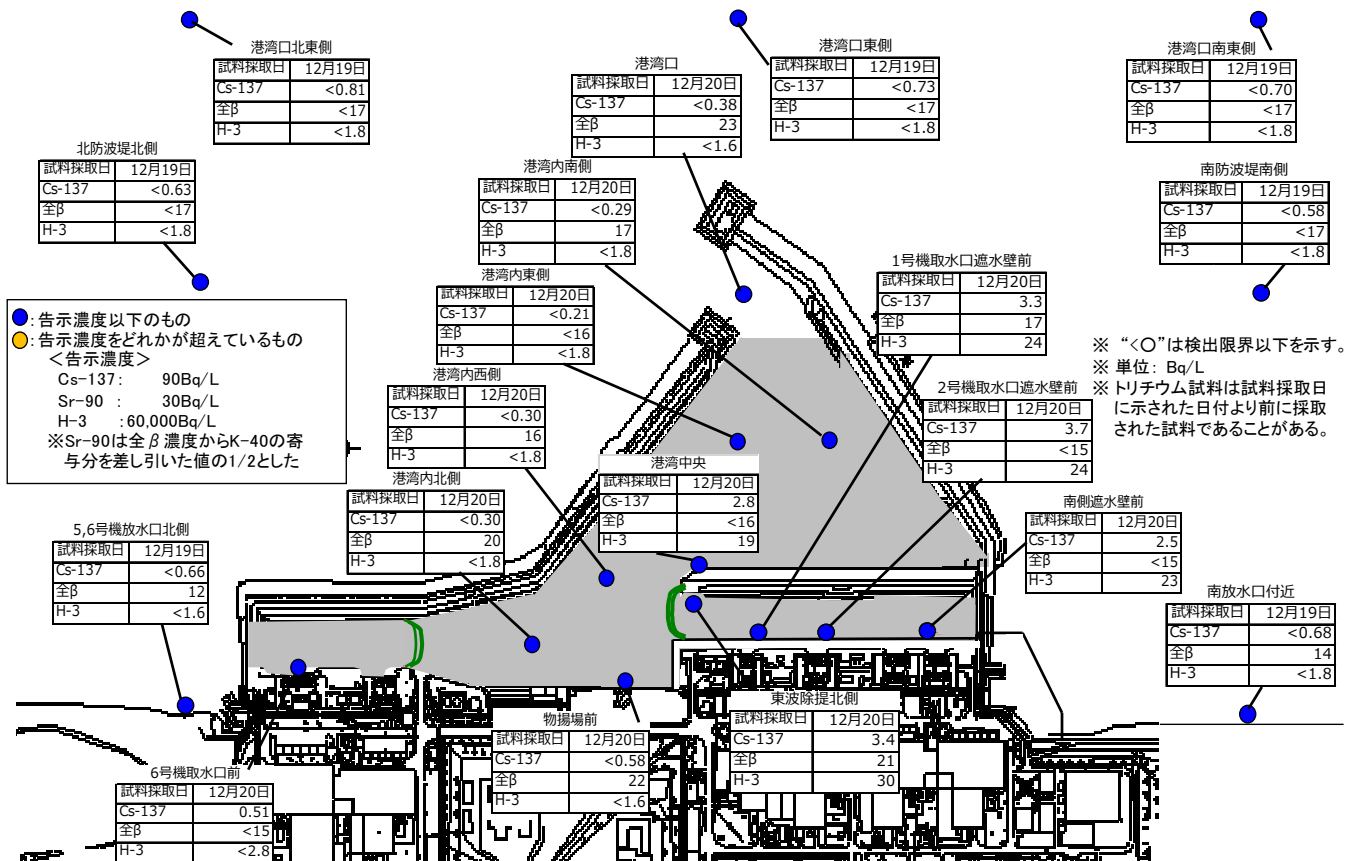


※1: 2016/4/15~4/20浪江休止のため富岡のデータを記載。 注: 検出限界値未満の場合は○で示す。検出限界値は各地点とも同じ。 ※2: C排水路について2016/9/14~10/11は採水点の溜水を採水することにより高めの数値となることがあった。(新設排水路への切替の影響)

<参考> K排水路枝管の調査状況整理

- 色付き枠線は、屋根排水+道路排水が接続している箇所。
- グレー枠線は、道路排水が接続していると推測される箇所。
- 実線の枠線は、トラップ設置前に採水した箇所。(流量比較的多)
- 破線の枠線は、トラップ設置後に採水した箇所。(流量少)





©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

<1～4号機取水口エリア>

- 低い濃度で推移しているが、大雨時にCs-137濃度、全β濃度の上昇が見られる。
- 海側遮水壁鋼管矢板打設・継手処理の完了後、濃度の低下が見られる。

<港湾内エリア>

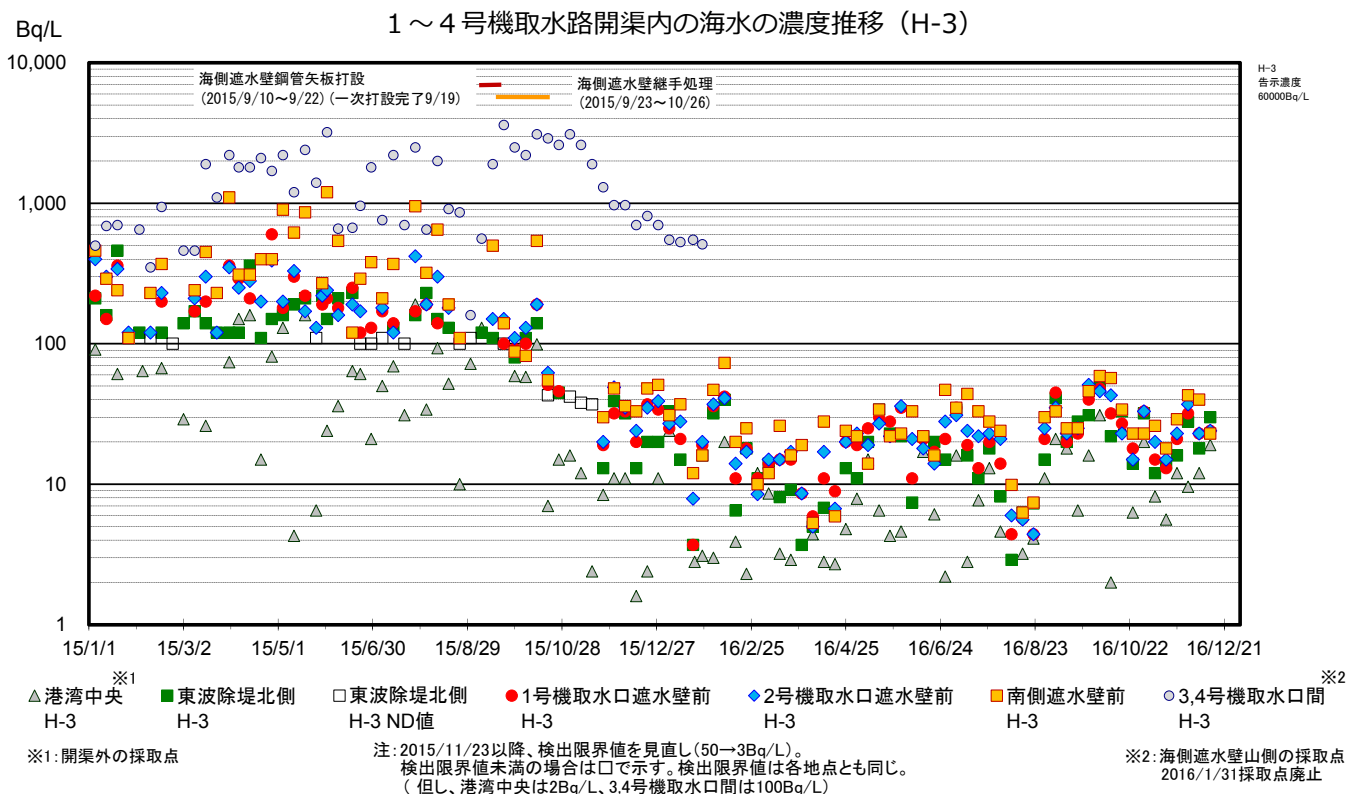
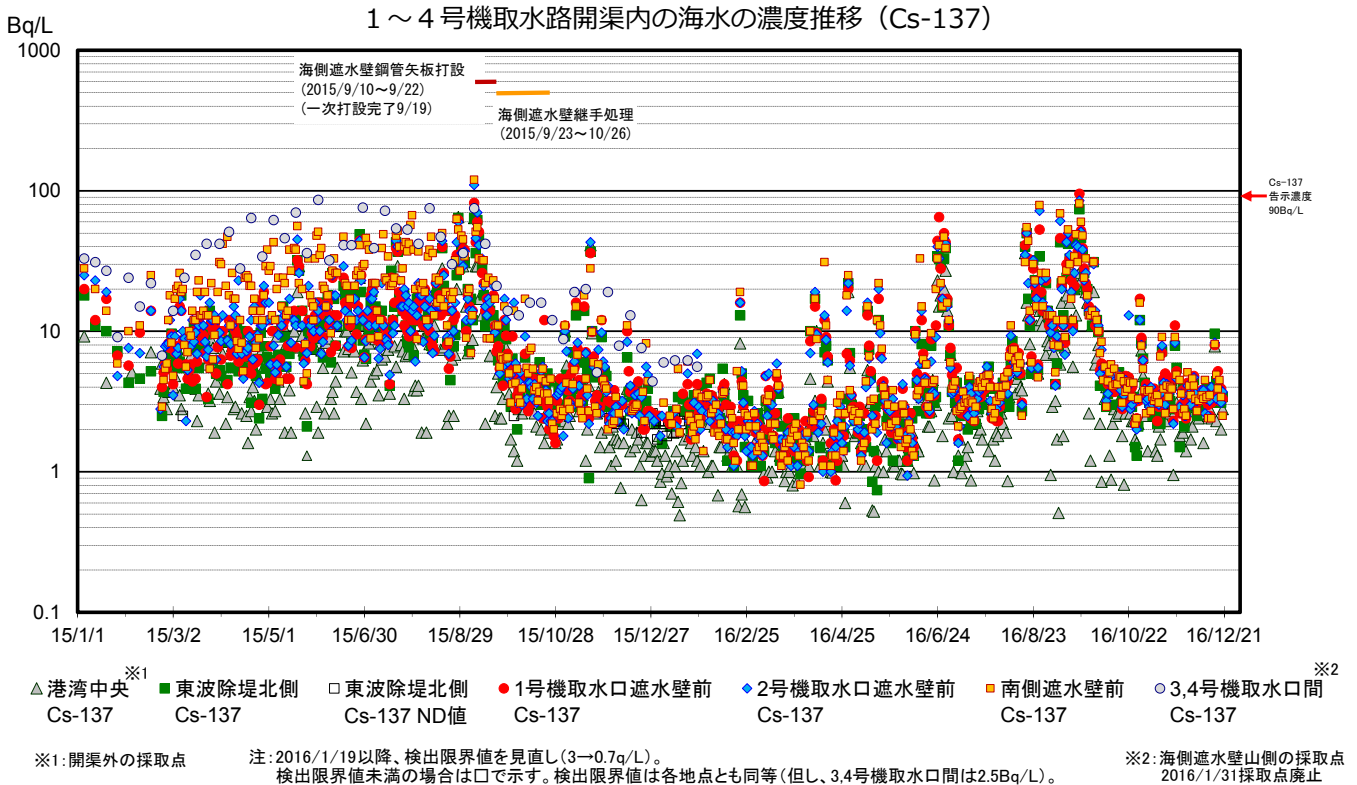
- 低い濃度で推移しているが、大雨時にCs-137濃度の上昇が見られる。
- 海側遮水壁鋼管矢板打設・継手処理の完了後、濃度の低下が見られる。

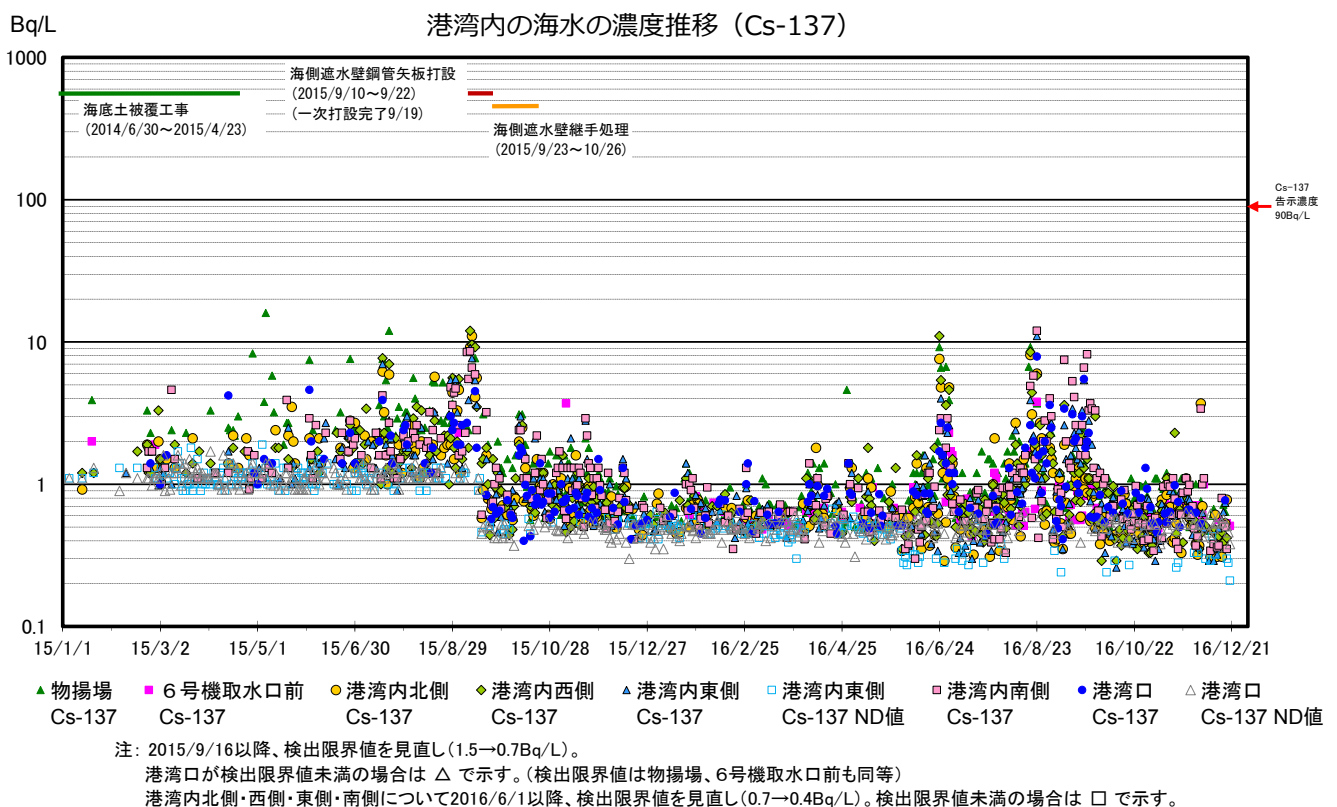
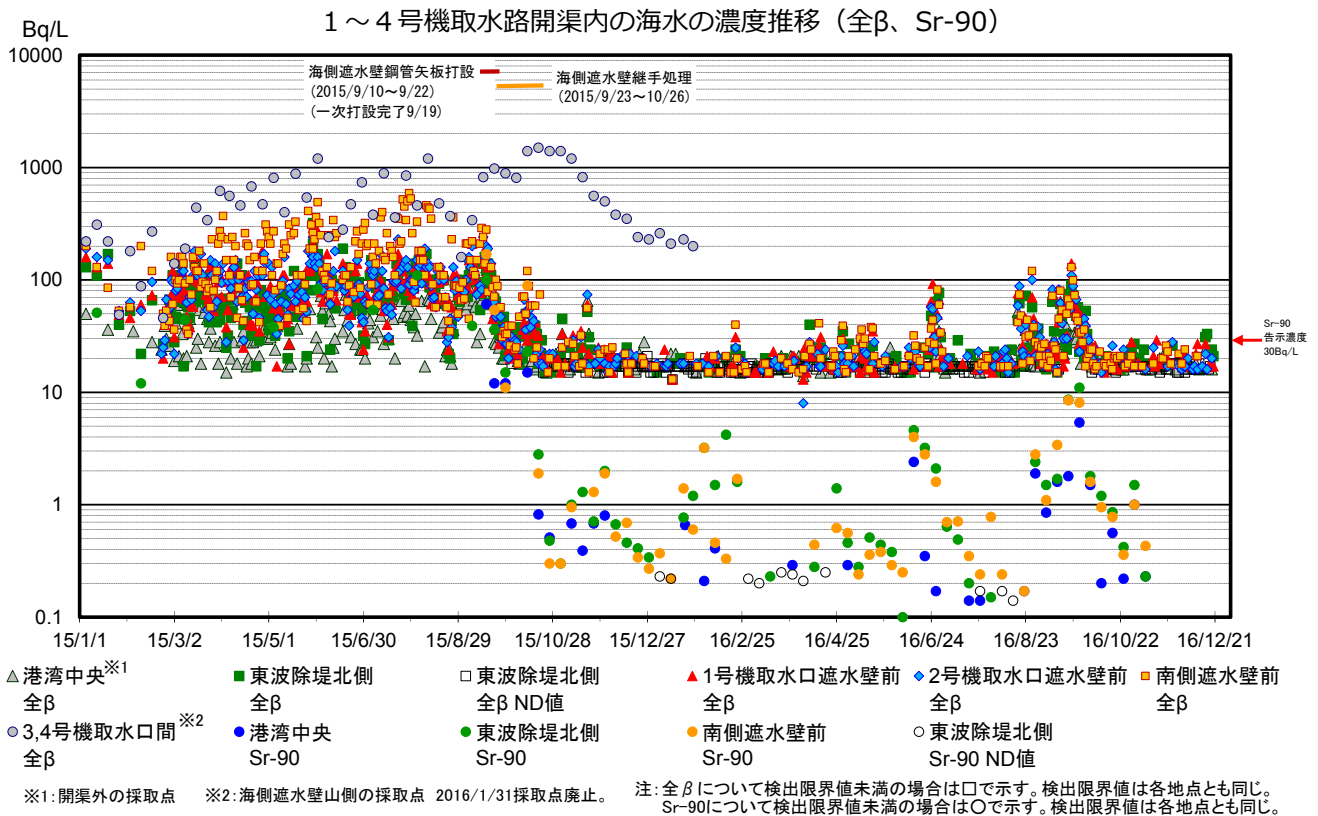
<港湾外エリア>

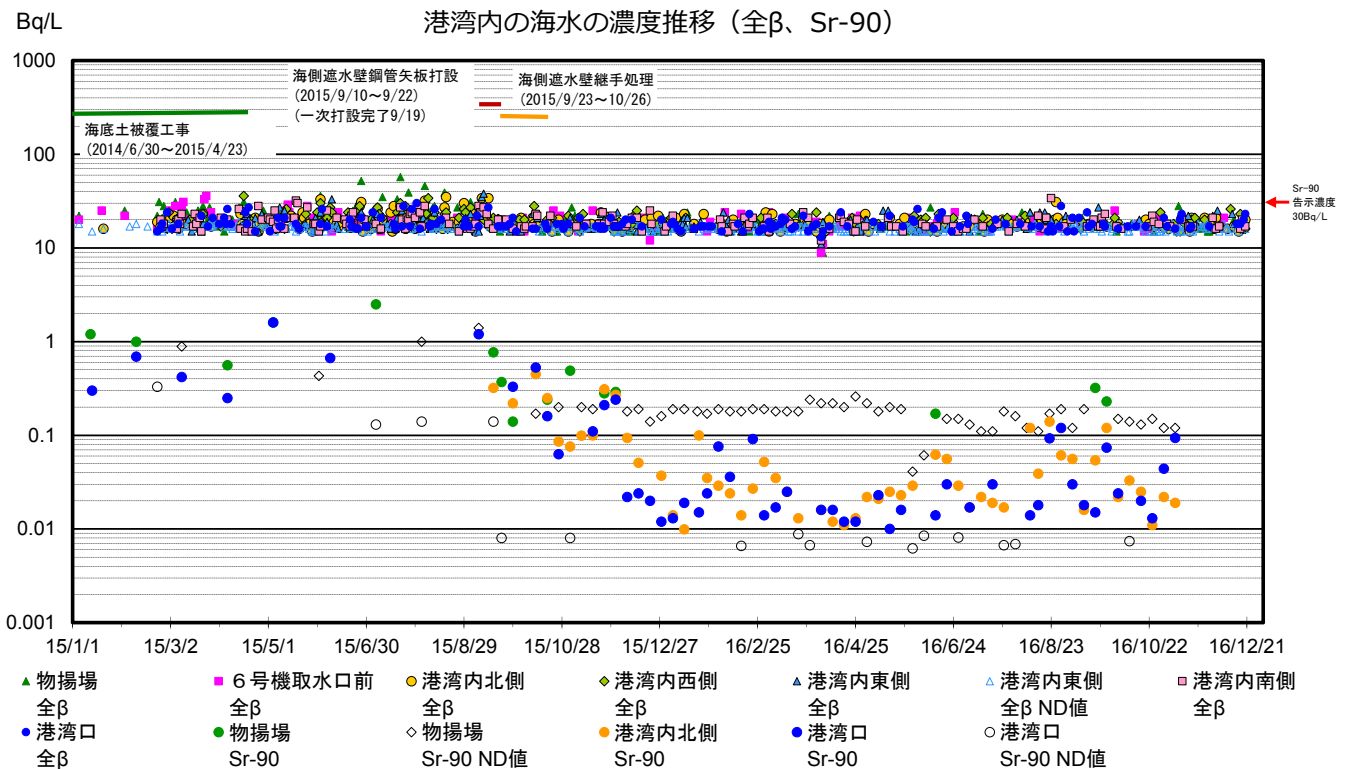
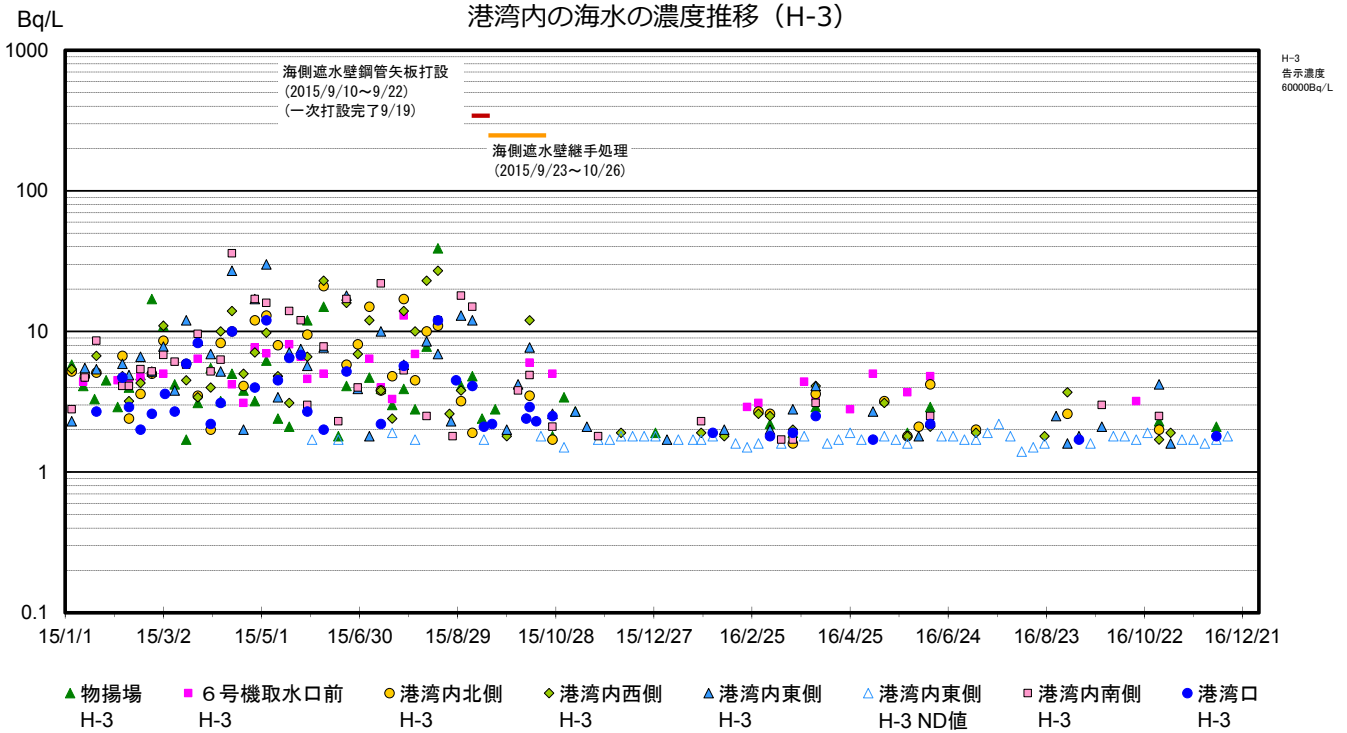
- これまでの変動の範囲で推移している。

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

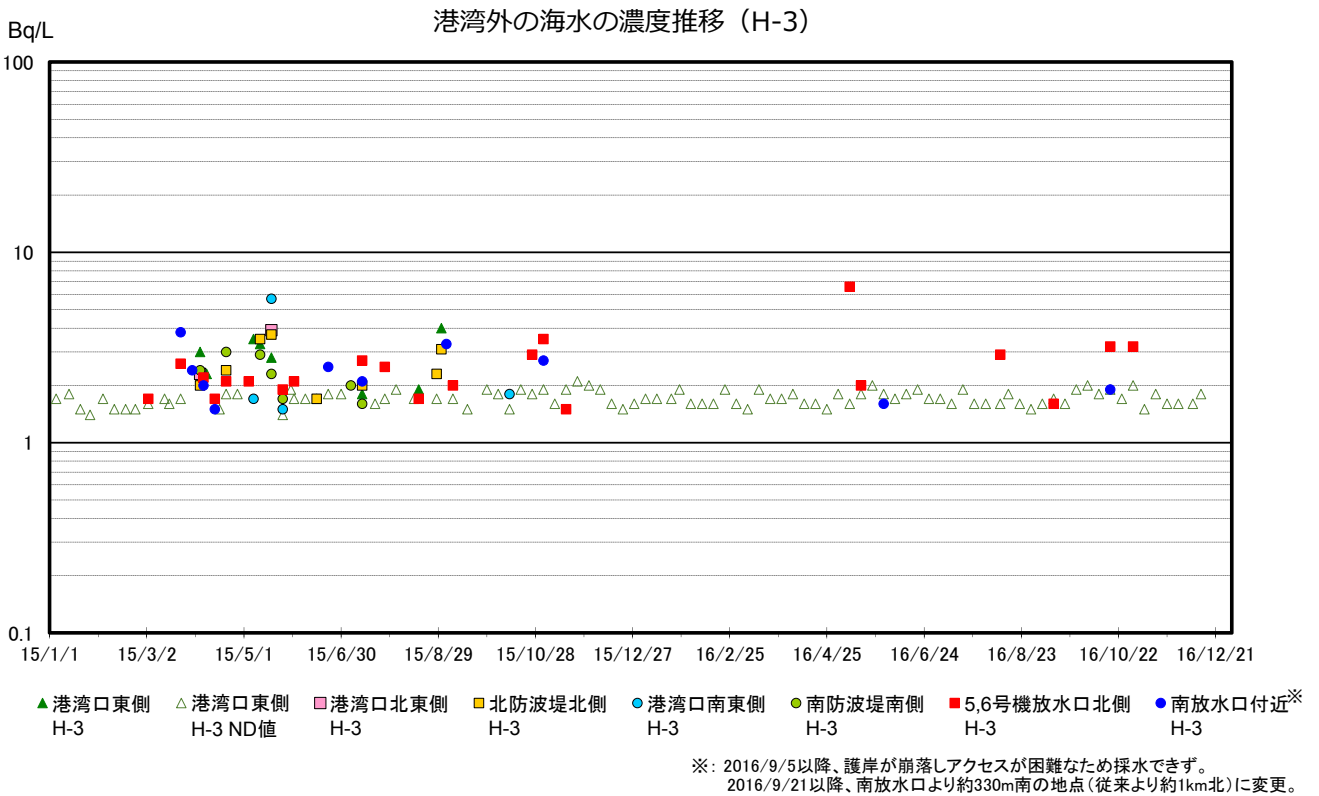
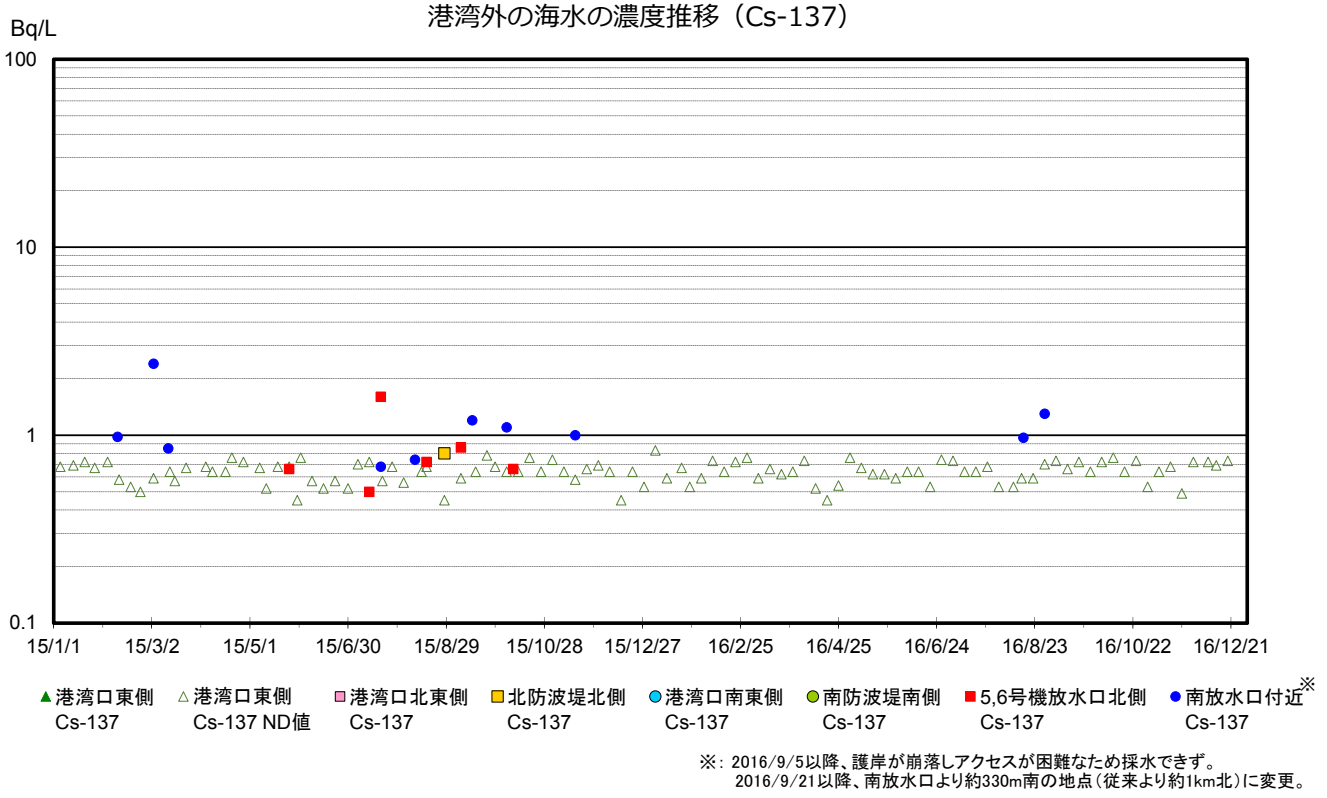
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

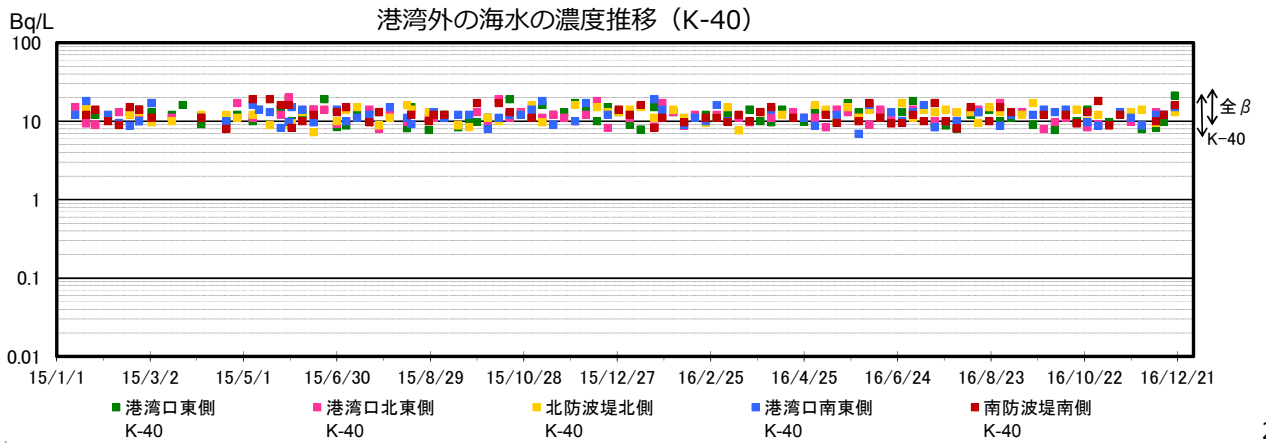
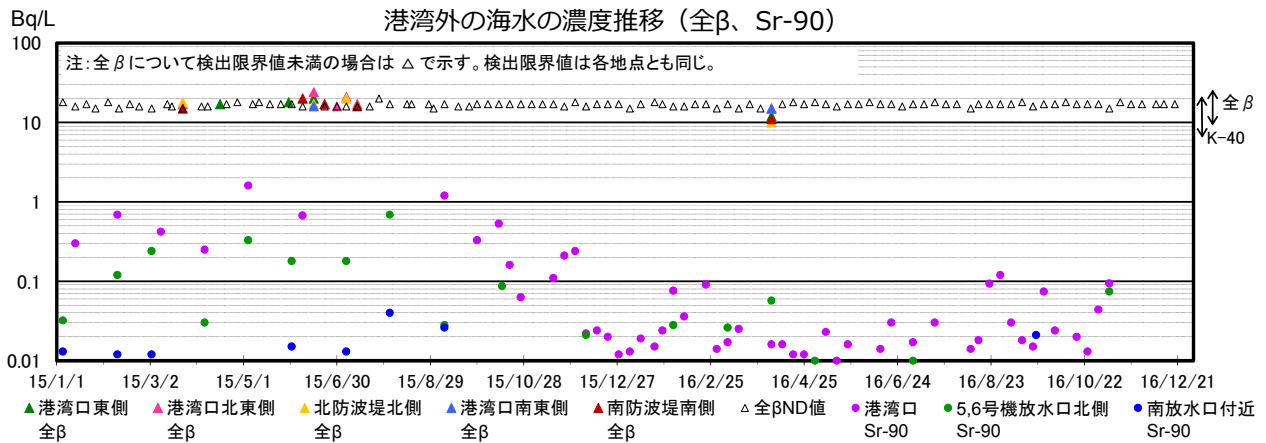






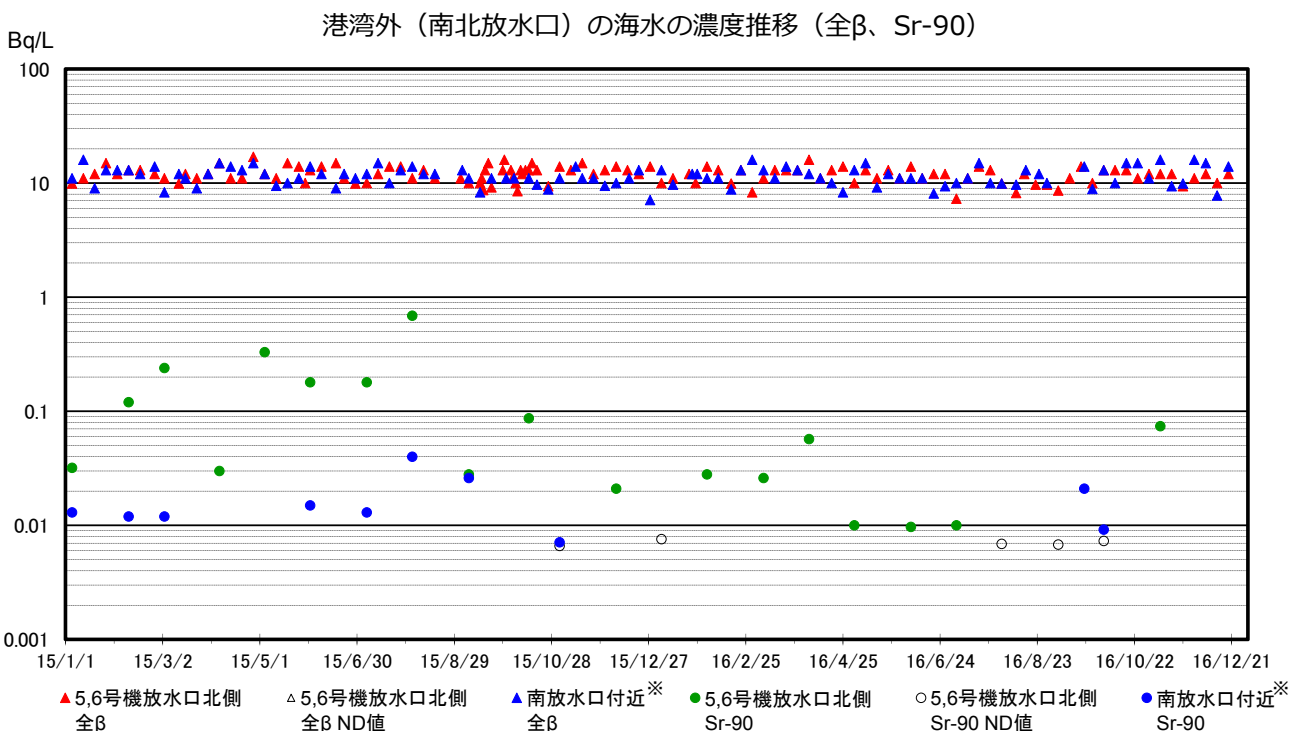
注: 全βについて、検出限界値未満の場合は△で示す(検出限界値は各地点とも同じ)。
 Sr-90について、物揚場が検出限界値未満の場合は◇で示す。港湾口が検出限界値未満の場合は○で示す(検出限界値は港湾内北側も同じ)。



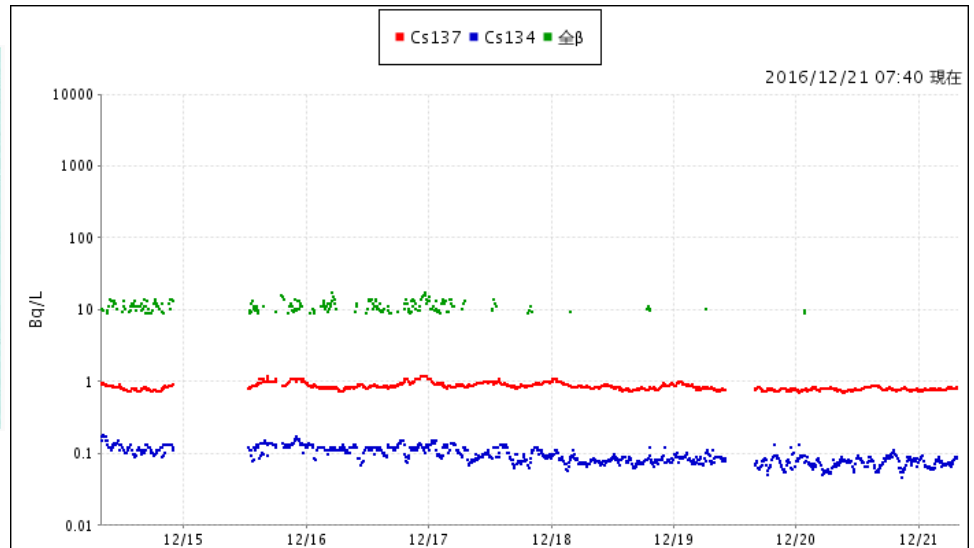


©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All rights reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社



注: 2013/12/10以降、5,6号機放水口北側、南放水口付近について全βの検出限界値を見直し(20→5Bq/L)。※: 2016/9/5以降、護岸が崩落しアクセスが困難なため採水できず。全βについて検出限界値未満の場合は△で示す。検出限界値は各地点とも同じ。2016/9/21以降、南放水口より約330m南の地点(従来より約1km北)に変更。Sr-90について検出限界値未満の場合は○で示す。検出限界値は各地点とも同じ。



※検出限界値未満 (ND) の場合は、グラフにデータが表示されません。
(検出限界値)

- ・セシウム (Cs)134 : 0.02 Bq/L
- ・セシウム (Cs)137 : 0.05 Bq/L
- ・全β : 8.7 Bq/L

※海水放射線モニタは、荒天により海上が荒れた場合、巻き上がった海底砂の影響等により、データが変動する場合があります。

※参考 「福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則」に定める告示濃度限度は、以下の通り。

- ・セシウム (Cs)134 : 60 Bq/L
- ・セシウム (Cs)137 : 90 Bq/L

○ 設備の不具合および清掃・点検保守作業等により、データが欠測する場合があります。

○ 2016年12月14日 午後10時9分より、採水設備の不具合によりデータが欠測しておりましたが、点検等が完了し、12月15日午後12時30分に復旧しております。